

○七管本部長の江口です。

○今月の記者懇談会は、先月の海上交通センターでの開催に続き、七管区としては初めての試みとして、北九州航空基地での開催となりました。

○今月8日にファルコン2000が新たに就役いたしましたので、この機体のお披露目と、航空基地のご紹介、そして航空基地をベースに活動している機動救難士の状況を御覧頂きたく、こうしたセッティングになりました。宜しくお願いします。

○福岡県内は、昨日から県独自のコロナ警戒が発令されておますが、私は、4月の着任後、各種警戒の発令の間を縫って今月14日までに県外・離島を含む七管区内25箇所の海上保安部署等の事務所の初度視察を終了し、併せて各自治体の首長様、関係機関のトップの方々とも意見交換する機会を得ました。

そうした中、9日から10日にかけては、福岡県、長崎県において大雨による土砂災害警戒情報が発令されたことから、七管本部にも情報連絡室を設置し自治体・関係機関と連絡を密に災害の発生に備えましたが、海上保安庁からの出動はありませんでした。

今後は台風シーズンに向かいますが、引き続き、各自治体・関係機関の皆様とは構築したネットワークを活かして、連係して各種災害に備えて参りたいと思います。

○さて、先月30日開催の定例記者懇談会后、管内では、22隻の船舶海難、34人の人身海難が発生、9名の方が死亡あるいは行方不明となりました。亡くなられた方々に

は心からお悔やみを申し上げます。

我々は、引き続き、海難の防止啓発・発生時対応に万全を期して参ります。当地、北九州市の例では、市と保安部の間の関係協定に基づき、小学校のお子さんを対象とした海の安全教室を展開するなど啓発活動を進め報道にも取り上げて頂きましたが、夏休み期間に入っておりますので、特に、お子さんの水の事故には、保護者の方も含め十分注意をして頂きたいと思えます。

関連して、ここ数日、糸島沖合でシュモクザメの目撃情報なども報道されておりますが、ライフセーバー等の配置された安全に開設されている海水浴場で遊泳していただくよう、また、海の安全情報等より関連情報に留意していただくよう宜しくお願いします。

○本日は、機動救難士の救難デモンストレーションに合わせて、心肺蘇生法の展示・講習を予定しています。記者の皆様は、仕事の性格上、危険な状況と隣り合わせの取材も多いかと思えます。氾濫河川で取材中に車が水没したというようなケースも伺ったことがあります。様々な場面で周りにいる人の命を救うスキルとして、これを機に自信をもって心肺蘇生ができるようにして頂ければと思えますので、是非ご参加下さい。

私からは以上です。